

# 平成25年度国土交通省 国土技術研究会の開催について

## (結果報告)

国土交通省大臣官房技術調査課

### 1 はじめに

国土技術研究会は、国土交通省の前身の一つである旧建設省が内務省であった昭和22年から「直轄技術研究会」として始まっており、平成13年度より「国土技術研究会」と名称変更し、今回で67回目を迎えました。

本研究会では、国土交通省所管の住宅・社会資本整備行政に係る技術課題に対し、おのおのが携わる事業の現場経験を通じた創意工夫や技術開発、設計・施工・維持管理時の改良改善等の実施状況について、技術発表やディスカッションを行うことにより、技術者の技術力向上・研鑽を図ることや国土交通行政への反映を目的としています。

主な発表者は、各地方整備局などの若手技術者、試験研究機関の研究者、国土交通本省職員お

よび国土交通省関係機関の技術者です。また、聴講者は、学会関係者や民間企業を含めた一般の技術者等です。

### 2 今年度の開催状況

平成25年度の国土交通省国土技術研究会は11月7日(木)～8日(金)の2日間にわたって開催され、約520名の参加がありました。主なプログラムは、開催初日は指定課題、自由課題(アカウンタビリティ部門)、ポスターセッション、特別講演、特別課題(パネルディスカッション)、開催2日目は自由課題(一般部門およびイノベーション部門)とポスターセッションが実施されました。

国土技術研究会における課題の発表は、指定課題、自由課題一般部門(安全・安心、くらし・活



写真 1 自由課題アカウンタビリティ部門の様



写真 2 自由課題アカウンタビリティ部門の様相

力、環境)、自由課題イノベーション部門、自由課題アカウンタビリティ部門、ポスターセッションおよび建設技術研究開発助成制度成果報告会があり、計94課題の発表が行われました。

特別講演は、東京大学大学院教授である家田仁氏をお招きし、「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方」と題してご講演をいただきました。講演では、インフラメンテナンスの多様性、重要性、政策的課題など、建設技術者や建設行政担当者の意識向上に資する貴重なお話をいただきました。

特別課題は、社会資本の維持管理・更新に関する各機関の取り組み状況と今後取り組むべき施策についてパネルディスカッションを実施しました。パネルディスカッションは、総合政策局の山内正彦公共事業企画調整課長をコーディネーターとして、中部地方整備局道路部道路保全企画官

濱地仁氏、富山市建設部長 村藤昇氏、大成建設株式会社技術センター土木技術研究所土木構工法研究室 鈴木三馨氏、構造物メンテナンス研究センター上席研究員 木村嘉富氏、独立行政法人港湾空港技術研究所構造研究領域長 山路徹氏（発表順）の5名のパネリスト、特別講演に引き続き東京大学大学院教授 家田仁氏、成蹊大学経済学部教授 井出多加子氏にコメンテーターを務めていただき、計8名でディスカッションが行われました。

各パネリストから社会資本の維持管理・更新に関する取り組み状況についての報告と、今後取り組むべき施策とその施策を進めていく上での課題について発表いただき、人材育成・各機関の連携・技術開発の3テーマを中心にコメンテーターを交え、ディスカッションが行われました。



写真 3 パネルディスカッションの様相